

環境放射線監視体制の充実・強化について

国において、UPZ（緊急時防護措置を準備する区域）の範囲の目安が原子力発電所から概ね 30km とされたことに伴い、氷見市の①氷見市西部清掃センター、②八代自治会館に 1 局ずつ、志賀原子力発電所の事故等による影響を総合的に監視するモニタリングステーションを新設し、放射線の監視ネットワークシステムを整備するとともに、観測値等をもとに、緊急時に放射性物質の拡散等を予測するシステム（SPEEDI）を配備しましたので、お知らせします。

今回の取組みにより、石川県と相互連携した監視体制が構築されるほか、的確な緊急時モニタリングの実施が可能となるなど、環境放射線の監視体制が充実・強化されます。

今後とも県民の安全・安心な生活の確保に向けて監視を実施してまいります。

※ 環境科学センターでの現地取材を希望される場合は、事前に環境科学センター生活環境課（0766-56-2835）までご連絡ください。

1 環境放射線モニタリングステーションの設置等

(1) 大気中の放射線の監視

- 環境放射線を低線量及び高線量モニタリングポストで観測し、結果を収集・蓄積

(2) 気象要素の観測

- 放射性物質の拡散に影響を及ぼす風向・風速等の連続観測

「富山県環境放射線監視ネットワークシステム」(※詳細は別紙参照)

(3) 災害時に対応したネットワークシステム

- 主要機器（データ収集・処理サーバ等）の二重化
- モニタリングステーションと監視局とのデータ収集回線の二重化（有線、無線）
- 電源の多様化（非常用発電機の設置）

(4) 県民へのわかりやすい情報提供

- 本県及び石川県内の各地の観測値をインターネットでわかりやすく提供するほか、同一地図上に一括表示

(URL : <http://atom.pref.toyama.jp/monitoring/page/radiation/radiationMap.html> (4/18 から運用開始))



2 SPEEDI(緊急時迅速放射線拡散影響予測ネットワークシステム)の配備

(1) SPEEDI の概要

- 緊急時に、放射性物質の大気中濃度及び被ばく線量などの影響を、放出源情報、気象条件及び地形データを基に迅速に予測するシステム

(2) 県内の配備先

- 環境科学センターに中継機Ⅰ、環境科学センター及び防災・危機管理課に中継機Ⅱを配備

中継機Ⅰ：モニタリングステーションで観測された値を収集し、中央情報処理計算機に送信する端末

中継機Ⅱ：中央情報処理計算機から送られてくる予測計算結果を受信し、表示する端末



中継機Ⅰ(観測データ収集)



中継機Ⅱ(出力図形表示)

富山県環境放射線監視ネットワークシステムの概要

<今回のシステムの特徴>

- ① 原発立地県(石川県)と同等のシステムを整備
⇒ 観測値は1分ごとに収集・蓄積、主要機器の2重化等
- ② 石川県との観測値の緊密な相互連携(1分ごとの観測値の送受信)
⇒ UPZ圏内の観測値の一括表示

上余川観測局(西部清掃センター)外観(志賀原発から23km)

<モニタリングステーション<モニタリング>ポスト、気象観測機器、テレメータシステムを完備

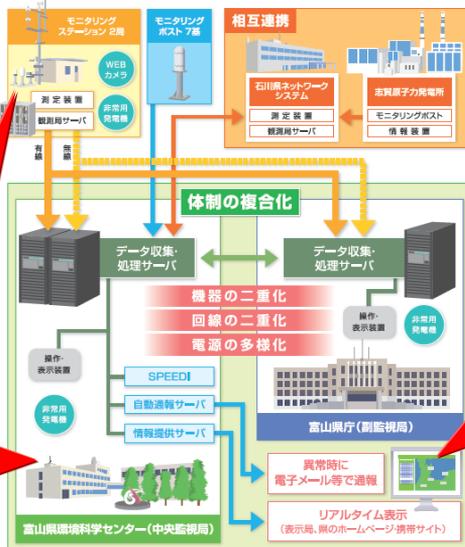


<観測局の内部>

<外部表示盤>



中央監視局(環境科学センター)



UPZ圏内の観測値(放射線量)が一括表示



県内の放射線量が一括表示



富山県環境放射線監視ネットワークシステムの特長

24時間365日放射線を監視

- ◆ 大気中の放射線を24時間休みなく観測し、値は1分ごとに自動的に収集・蓄積
- ◆ 緊急時には過去の観測値や隣県の観測値などと比較・検討し、的確かつ適切な防護措置を支援

地震等の災害時に対応したシステム

- ◆ 主要機器(観測局サーバ、データ収集・処理サーバ)の二重化
- ◆ データ収集回線の二重化(有線回線、無線回線)
- ◆ 異常値等の発生を中央監視局が自動的に検知し、職員に通報
- ◆ 観測局及び監視局の電源の多様化(非常用発電機の設置)

県民へのわかりやすい情報提供

- ◆ 観測値をインターネットでリアルタイムにわかりやすく提供
- ◆ 富山県及び石川県の各地の観測値を同一地図上に一括表示